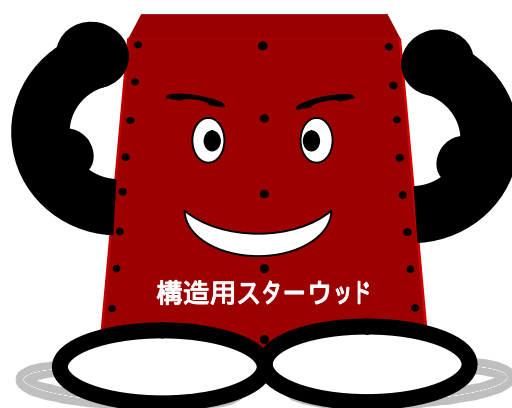


# 構造用スターウッド 施工の手引き

= 枠組壁工法 =

(2010年8月発行)



タイプ	仕様	認定倍率	使用くぎ	認定番号	標準サイズ
高倍率 Pタイプ	枠組	3.6倍	CN50	TBFC-0035	908×1820
					908×2430
					908×2730
					908×3030
					998×2430
					998×2730
					998×3030

# 構造用スターウッド

## 構造用スターウッドとは？

「構造用スターウッド」は弊社のMDF製品で、建築下地や構造材料用途に用いられる構造用MDFの製品名称です。MDFはJIS A 5905:2003に規定される繊維板 (Fibreboards) の一種で、JISによる定義においてMDFは、主に木材などの植物繊維を成形した繊維板のうち、密度 $0.35\text{g/cm}^3$ 以上でドライプロセスによるものを指します。

MDF初の耐力壁用面材として平成7年、枠組壁工法での大臣認定を取得して以来今日まで、JIS認定工場にて生産される構造用スターウッドは、その品質安定性から全国の数多くのお客様にご使用頂いております。

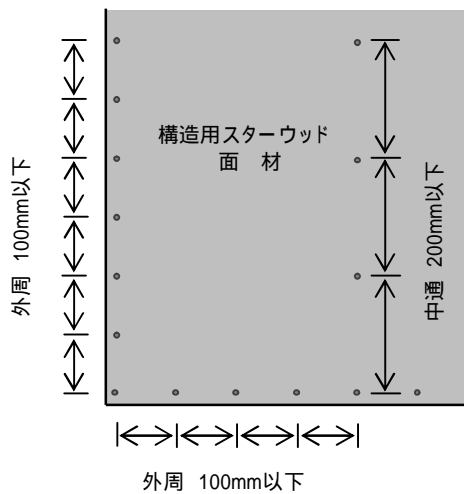
平成19年1月には枠組壁工法の壁倍率3.6の大臣認定取得を9mm厚で実現し、「強い」「優しい」「確かな」をキーワードに、安心の家づくりのために構造用スターウッドが貢献できる領域は着実に広がっています。

下記注意事項等を遵守し、構造用スターウッドの適切な施工をお願いします。

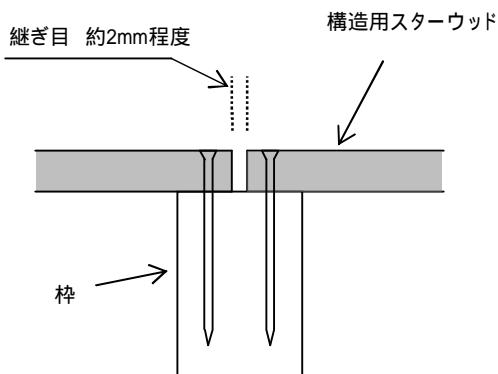
## 施工上の注意事項

### 釘打ちに関する注意

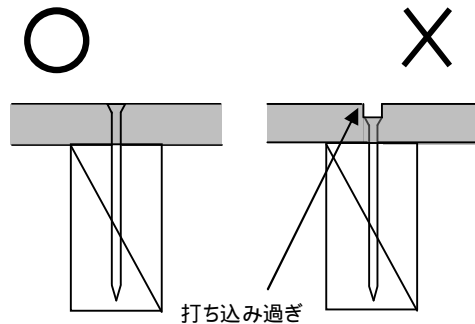
構造用スターウッドは耐力壁用面材として大臣認定を取得しています。外周部では釘間隔100mm以下、中通り部分は200mm以下を確保してください。



構造用スターウッドの継ぎ目は、必ず約2mm程度の間隔を設けてください。

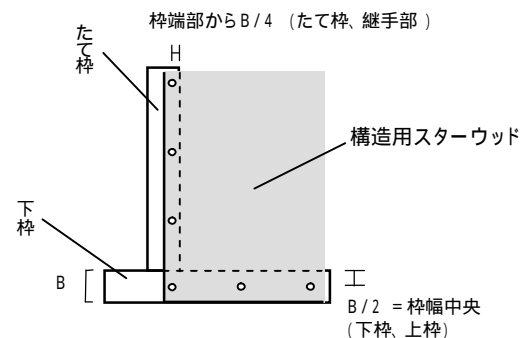


構造用スターウッドに釘打ちする際、釘頭の打ち込み過ぎをしないよう注意してください。自動釘打ち機を使用する場合、空気圧の調整を徹底してください。



釘頭のめり込みが大きい場合追加釘打ちしてください。

釘打ち位置は枠材の幅(B)を基準として、たて枠・継手部では枠端部より $B/4$ 内側、上下枠では $B/2$  (枠幅中央)、の位置とし規定の間隔で釘打ちしてください。



## 施工上の注意事項

### 雨濡れに関する注意

施工時の雨濡れは寸法変化に伴う釘のめり込みや反り、波打ちなどの原因となりますので、シートを掛けるなどして雨濡れしないようにしてください。

一般的に、防腐防蟻剤に含まれる界面活性剤は防腐防蟻剤を面材に浸透させるだけでなく、雨水の浸透も助長することになるため防腐防蟻剤の塗布後（養生中含む）は特に雨濡れしないようにしてください。

雨濡れした場合は、十分に通風乾燥してから後工程に進んでください。万一、通風乾燥しても、著しい反り、波打ちがあるような場合は、裏から栈木を当てて釘打ちするなどして矯正するか、もしくは面材を張替えるなどして後工程に支障が出ないように措置を講じてください。

### 面材の取り付け

土台部分は、構造用スターウッドが基礎と接しないように注意してください。

構造用スターウッドを横架材で継ぐ場合は、約10mm程度の間隔を開けて施工してください。

耐力壁の下張りが終了したら、雨水が浸入しない様に直ちに全面に防水紙を張ってください。防水紙の重ねは縦・横共に90mm以上とします。

その他施工仕様について枠組材、躯体工事基準等及び当記載以外については住宅金融公庫「枠組壁工法住宅工事共通仕様書」に準じてください。

### 耐力壁の施工仕様の概要

耐力壁を構成する枠組材は、告示第1541号の規定による枠組壁工法構造用製材を使用してください。

たて枠間隔は、500mm以下としてください。

枠組材の緊結は、告示第1540号第5第15号の規定にしたがってください。

継手受材の断面寸法は、寸法形式204以上とします。

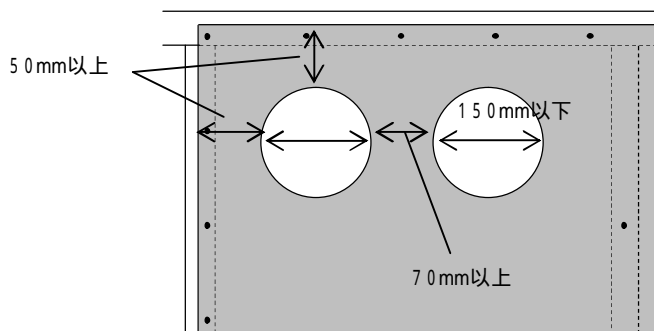
### 切断・穴開け等の注意

構造用スターウッドの切断には、手挽き鋸を用いるが、大量に切断する場合は、超硬合金の刃先のついた電動鋸を用いてください。

面取りは、面取りかな又はサンドペーパーを用いるが、大量に加工する場合は、電動プレナー又は電動サンダーを用いてください。

穴開けには、キリ又はドリルを用いてください。

換気扇等の開口を設ける場合、直径200mm以下を1箇所、又は直径150mm以下を2箇所までとします。その際、穴あけ位置は端部から50mm以上、穴あけ箇所間隔は70mm以上としてください。

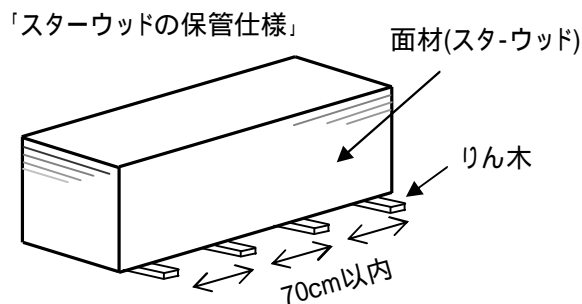


### 面材の搬入と保管

構造用スターウッドには原則、上下アテ板はありません。梱包上部には乗らないようにしてください。

スターウッドの運搬の際は、角や端部を当てて傷めないように注意してください。

スターウッドの保管は下図に基づき、雨水のかからず、直射日光の当たらない風通しの良い所に保管してください。工事現場で屋外に保管する場合は、平らな場所にりん木を高くして置き、必ずシートをかぶせてください。



# 枠組壁工法 仕様基準

## 構造用スターウッドの概要

一般名  
ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)

面材の品質  
規格 JIS A 5905:2003 「繊維板」  
材料構成 木材ファイバー、接着剤、耐水剤

### 寸法と許容差

厚さ mm	幅 mm	長さ mm	許容差(mm)		
			厚さ	幅	長さ
9.0	908 998	1820	±0.3	±3.0	±3.0
		2000			
		2440			
		2730			
		3030			

接着剤の区分  
JIS A 5905:2003 のMDFのPタイプ。

くぎ打ち方法の表示  
面材にはくぎの種類、くぎ間隔等を表示、ならびに、くぎ打ち位置を破線等に表示しています。

## 適用範囲

平成13年国土交通省告示第1540号および第1541号に準拠した枠組壁工法に適用となります。

当該耐力壁を平成13年国土交通省告示第1541号第1第5号表1及び表1-2に掲げる壁もしくは筋交いと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算することができます。

当該耐力壁は、防水紙その他これに類するもので、有効に防水されている部分で使用するものとします。

## 構造用スターウッドの性能

高倍率タイプ  
JIS A 5905:2003 のMDFの曲げ強さによる区分30タイプに適合する。

### 高倍率タイプの性能基準値

項目	単位	性能基準値
密度	g/cm <sup>3</sup>	0.75 以上
含水率	%	5 以上13 以下
曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	30 以上
湿潤曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	15 以上
吸水厚さ膨張率	%	12 以下
剥離強さ	N/mm <sup>2</sup>	0.5 以上
曲げヤング係数	N/mm <sup>2</sup>	2500 以上(参考値)
備考	試験法規格	JIS A 5905

# 枠組の施工仕様の概要

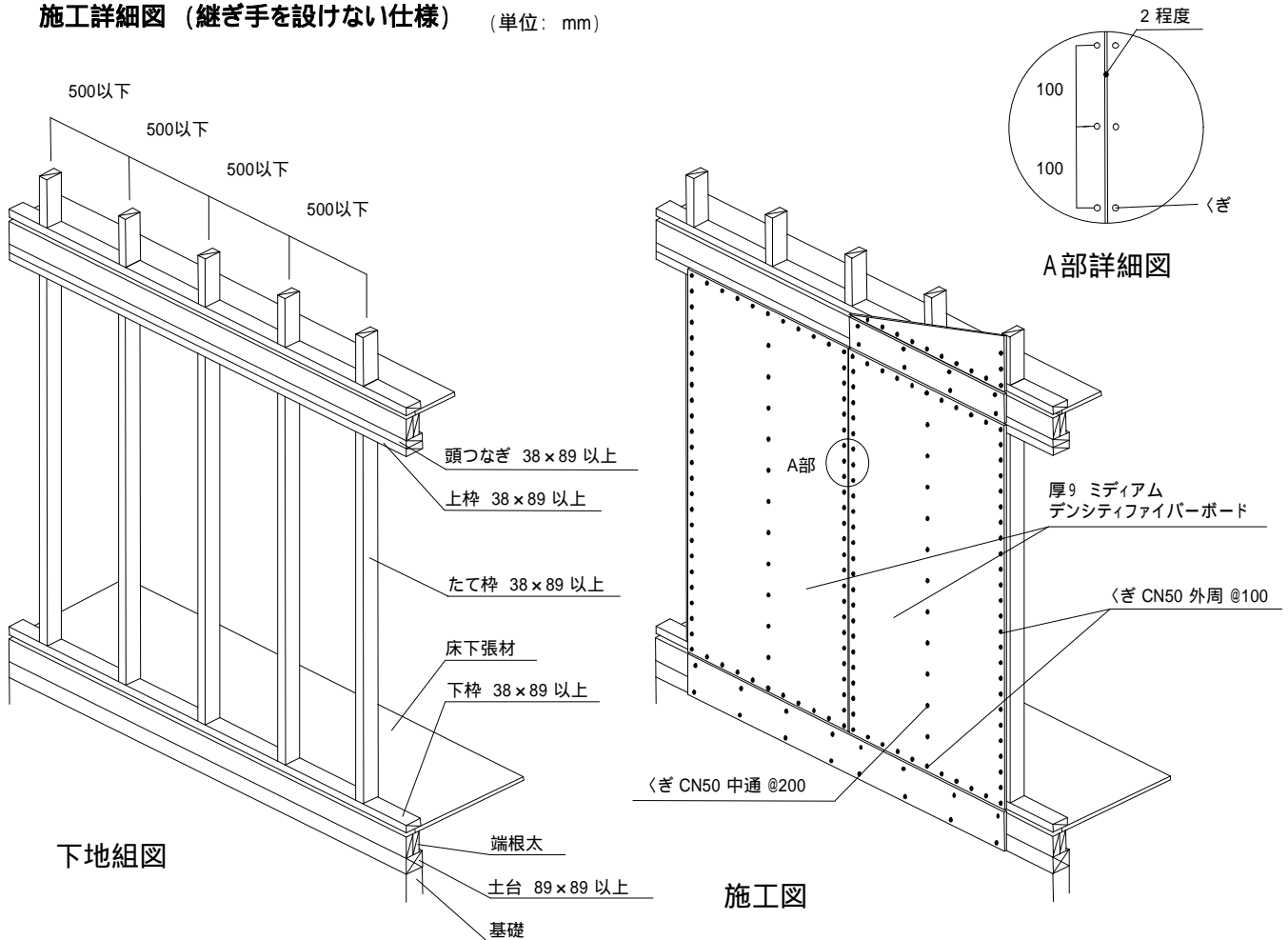
## 枠組材及び面材のとめつけ

枠組材品質	告示第1540号第2第1号の規定に基づき枠組壁工法構造用製材規格に規定したもの。
枠組材寸法	枠組壁工法構造用製材規格に規定する寸法形式204、206、208、404、406、または408に適合するもの。
たて枠間隔	500mm以下
枠組材の緊結	告示第1540号第5第15号の規定による。また住宅金融公庫の枠組壁工法住宅工事仕様書に準ずる。
使用釘種	CN50
釘打ち間隔	外周 @100mm以下、中通 @200mm以下
釘打ち位置	たて枠・継ぎ手部： 枠材幅(38mm)の1/4      上下枠： 枠材幅の1/2 (枠の中心)
面材のとめつけ	枠組材(たて枠、上枠、下枠等)に直接とめつける
面材突合せ部の隙間	2mm程度 ただし土台または、端根太もしくは側根太等における階高上下の突合せ部の隙間は6mm程度

壁倍率      壁倍率 3.6      (国土交通大臣認定 TBFC-0035)

## 施工標準仕様

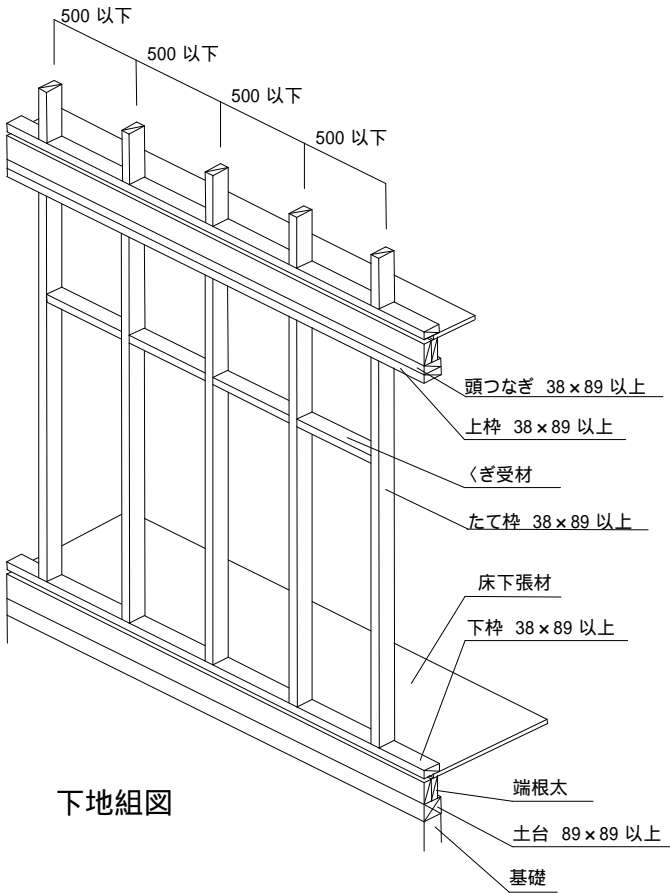
施工詳細図 (継ぎ手を設けない仕様)      (単位: mm)



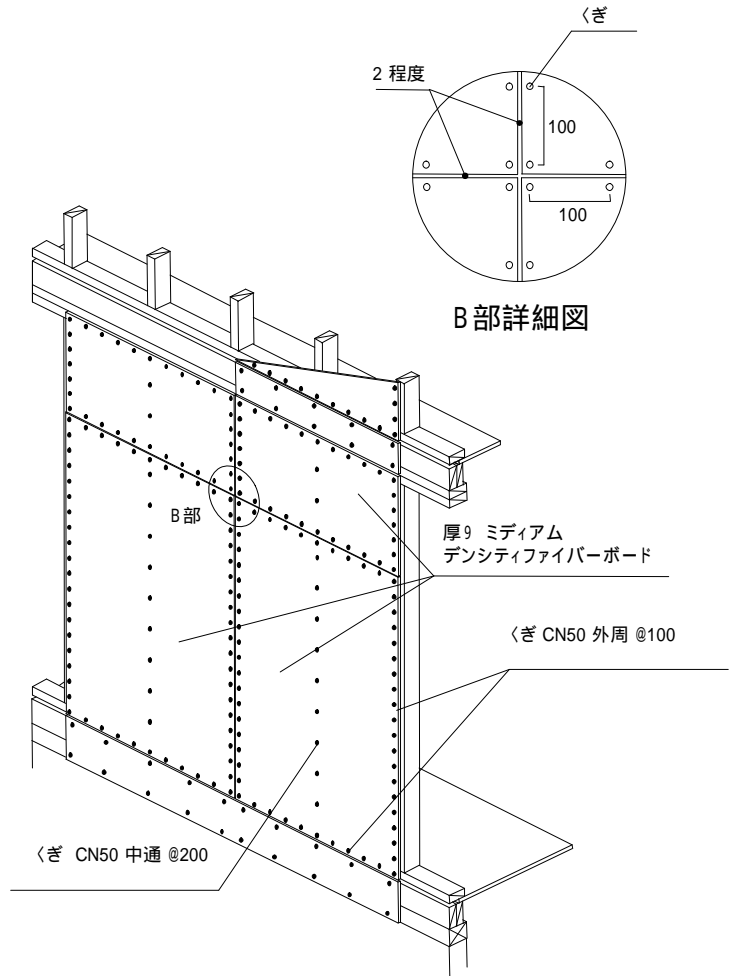
# 枠組の施工仕様の概要

## 施工標準仕様

施工詳細図(継ぎ手を設ける仕様) (単位: mm)

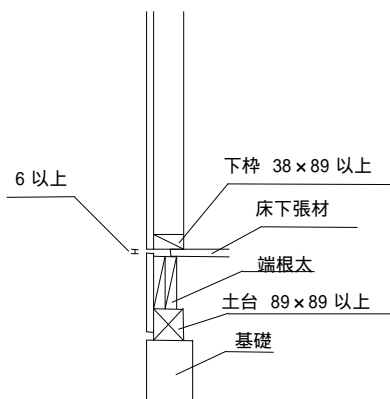


下地組図

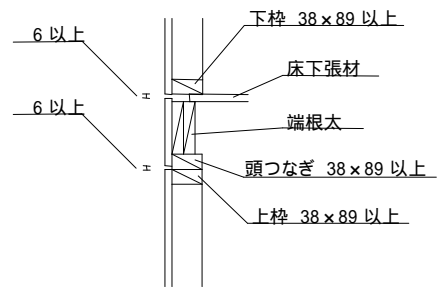


施工図

B部詳細図

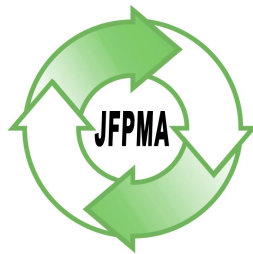


鉛直断面図(土台部)



鉛直断面図(階高上下)





木質ボード環境宣言・リサイクルマーク

製造元  **ホクシン株式会社** HomePage : <http://www.hokushinmdf.co.jp>

本社・工場 〒596-8521 大阪府岸和田市木材町17番地2 TEL:072(438)0141 FAX:072(422)9937

---

販売元  **C & H株式会社**

本社・東京営業課 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目2番地 TEL:03(5276)7911 FAX:03(5276)7914

大阪営業課 〒541-8560 大阪市中央区淡路町4丁目2番15号 TEL:06(6233)3213 FAX:06(6202)6277